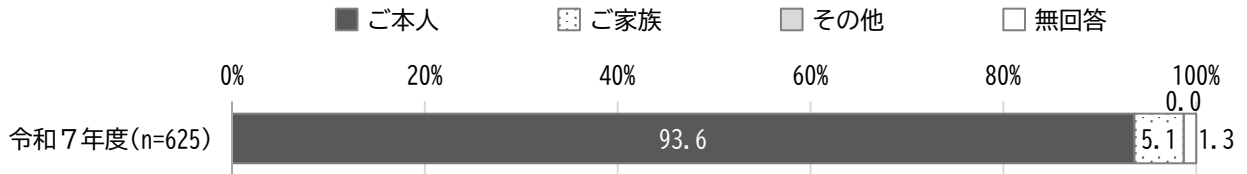


3 第2号被保険者調査

1. あなた自身のことについて

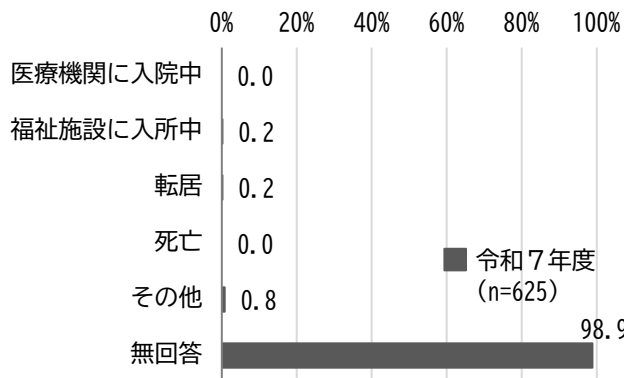
調査票を記入した人（単数回答）

【図表 150】 調査票の記入者



ご本人が何らかの事情によりご不在の場合（単数回答）

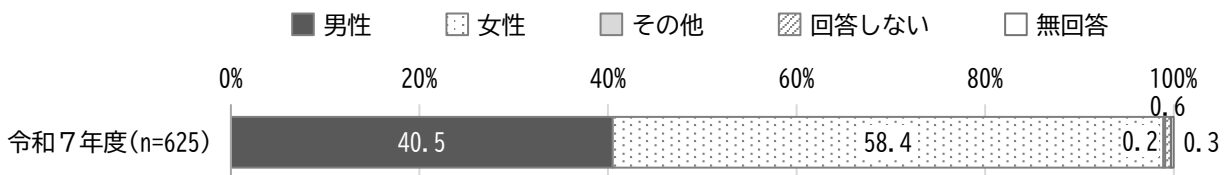
【図表 151】 不在の事情



不在の事情	人数
医療機関に入院中	0
福祉施設に入所中	1
転居	1
死亡	0
その他	5
上記に該当しない	618
合計	625

問1 性別を教えてください。（単数回答）

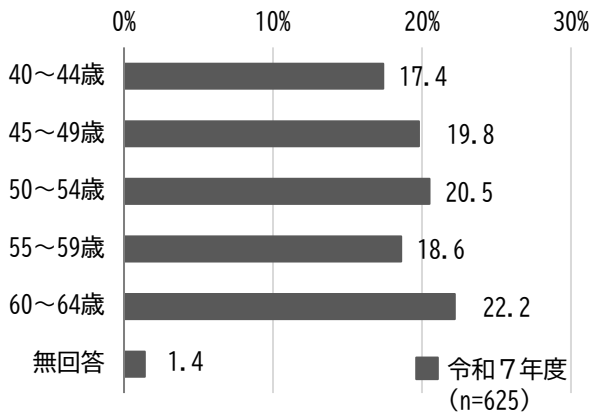
【図表 152】 性別



3 第2号被保険者調査

問2 年齢をご記入ください。(単数回答)

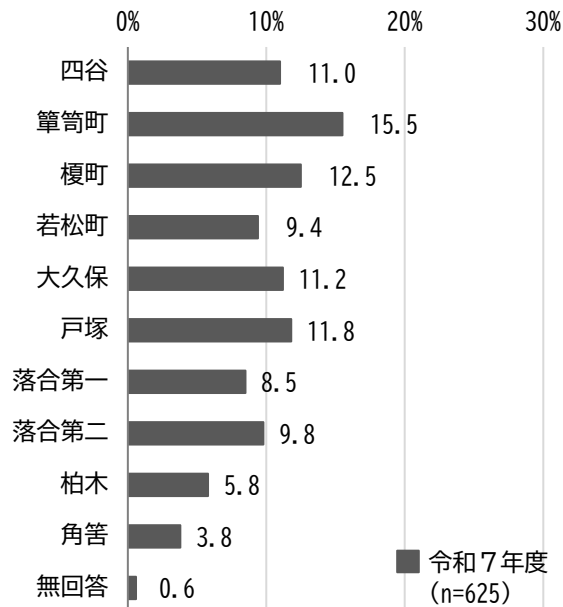
【図表 153】 年齢



年齢	人数
40～44歳	109
45～49歳	124
50～54歳	128
55～59歳	116
60～64歳	139
無回答	9
合計	625

問3 あなたのお住まいは、どの特別出張所管内ですか。(単数回答)

【図表 154】 居住地域



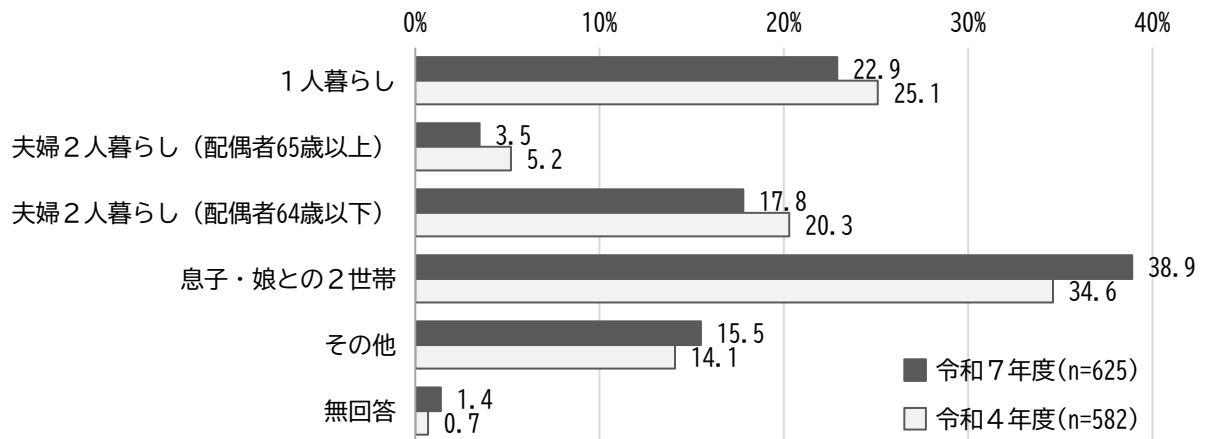
居住地域	人数
四谷	69
簞笥町	97
榎町	78
若松町	59
大久保	70
戸塚	74
落合第一	53
落合第二	61
柏木	36
角筈	24
無回答	4
合計	625

2. あなたのご家族や生活状況について

問4 家族構成を教えてください。(単数回答)

「息子・娘との2世帯」が38.9%で最も多く、次いで、「1人暮らし」が22.9%、「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」が17.8%となっている。「その他」（15.5%）では、「両親と同居」との回答が最も多い。

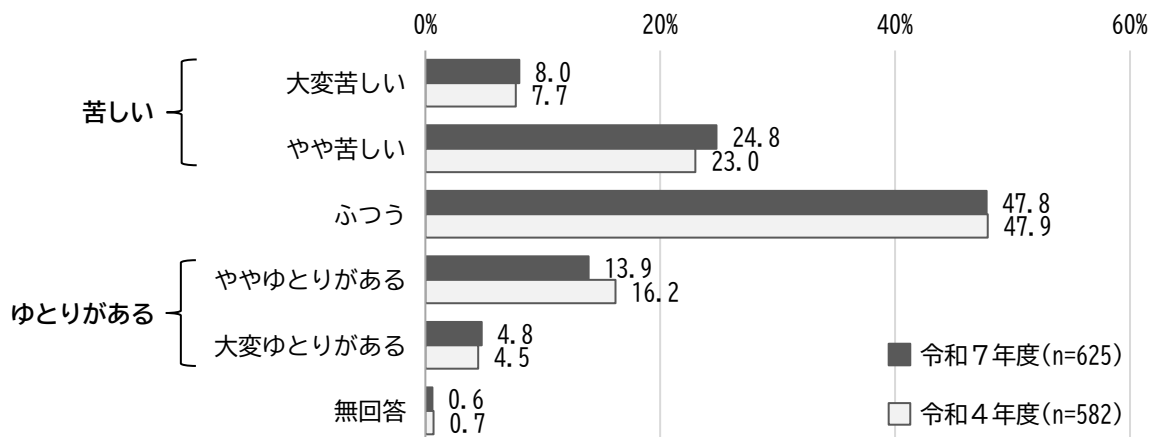
【図表 155】 家族構成〈前回比較〉



問5 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(単数回答)

「ふつう」が47.8%で最も多く、「大変苦しい」（8.0%）と「やや苦しい」（24.8%）を合わせた“苦しい”は32.8%となっている。一方、「ややゆとりがある」（13.9%）と「大変ゆとりがある」（4.8%）を合わせた“ゆとりがある”は18.7%となっている。

【図表 156】 現在の暮らし向き〈前回比較〉



3. 日ごろの活動について

問6 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。(単数回答)

会・グループ等への参加頻度については、「⑥収入のある仕事」の「週4回以上」が64.3%で最も多くなっている。

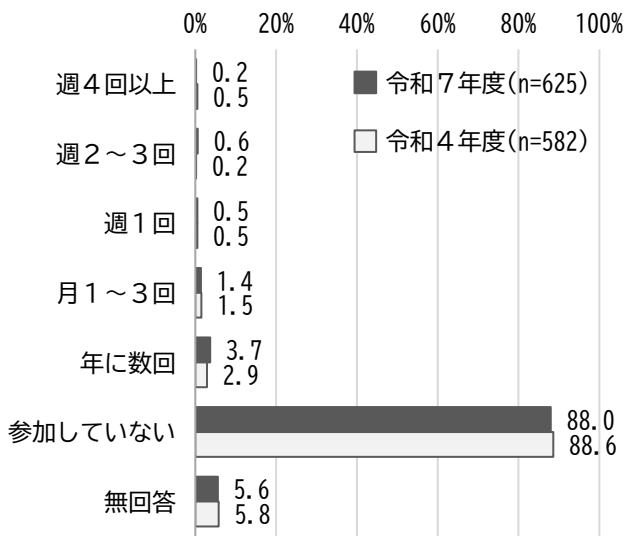
「週4回以上」から「年に数回」までを合わせた“参加している”は①ボランティアのグループで6.4%、②スポーツ関係のグループで19.1%、③趣味関係のグループで23.5%、④学習・教養サークルで11.1%、⑤町会・自治会で10.1%、⑥収入のある仕事で76.0%となっている。

【図表 157】 会・グループ等への参加頻度

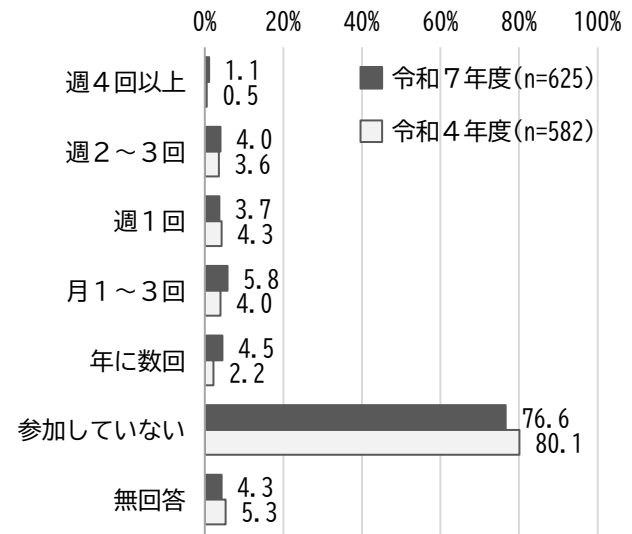
会・グループ名等	n (回答数)	参加している					参加して いない	無回答	(%)	
		週4回 以上	週2～ 3回	週1回	月1～ 3回	年に 数回			(R7) 参加 している	(R4) 参加 している
①ボランティアのグループ	625	0.2	0.6	0.5	1.4	3.7	88.0	5.6	6.4	5.6
②スポーツ関係のグループ	625	1.1	4.0	3.7	5.8	4.5	76.6	4.3	19.1	14.6
③趣味関係のグループ	625	0.5	2.2	3.5	9.9	7.4	71.8	4.6	23.5	13.4
④学習・教養サークル	625	0.5	0.3	1.8	3.5	5.0	83.4	5.6	11.1	5.9
⑤町会・自治会	625	0.2	0.0	0.3	1.3	8.3	84.0	5.9	10.1	7.7
⑥収入のある仕事	625	64.3	7.2	1.8	2.1	0.6	21.8	2.2	76.0	49.9

【図表 158】会・グループ等への参加頻度〈個別〉〈前回比較〉

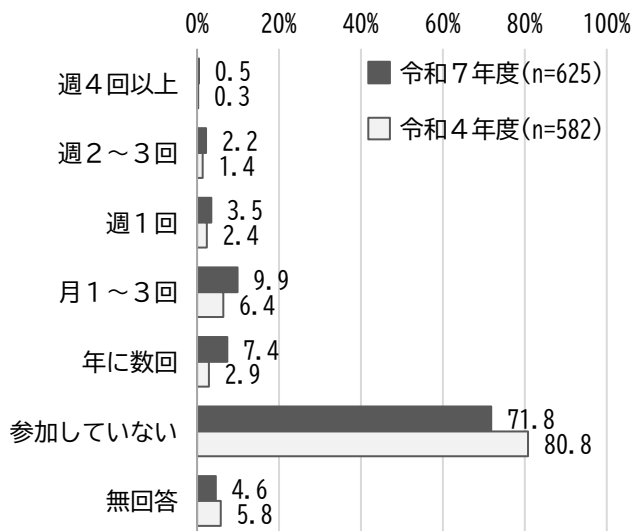
①ボランティアのグループ



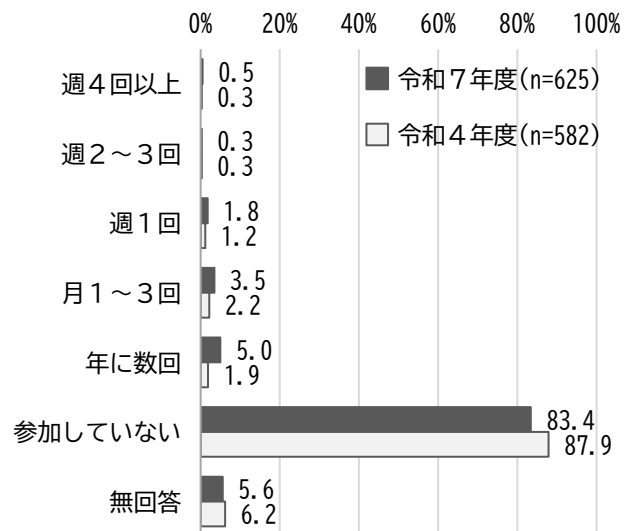
②スポーツ関係のグループ



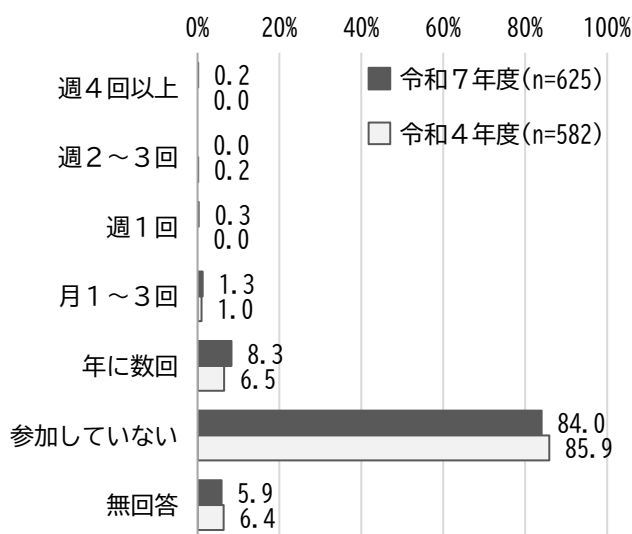
③趣味関係のグループ



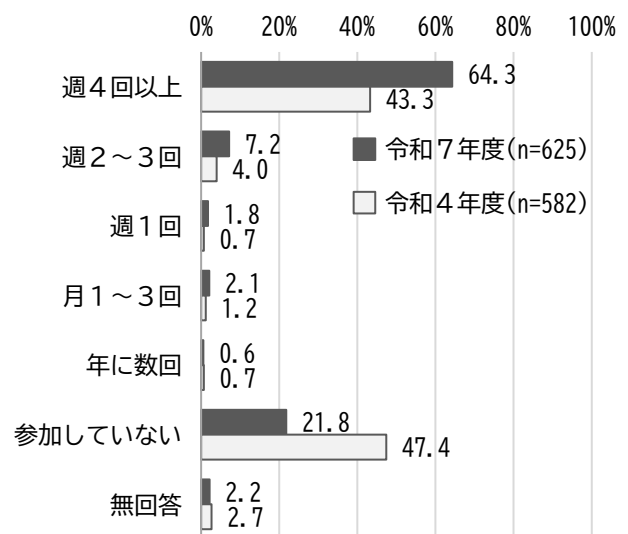
④学習・教養サークル



⑤町会・自治会



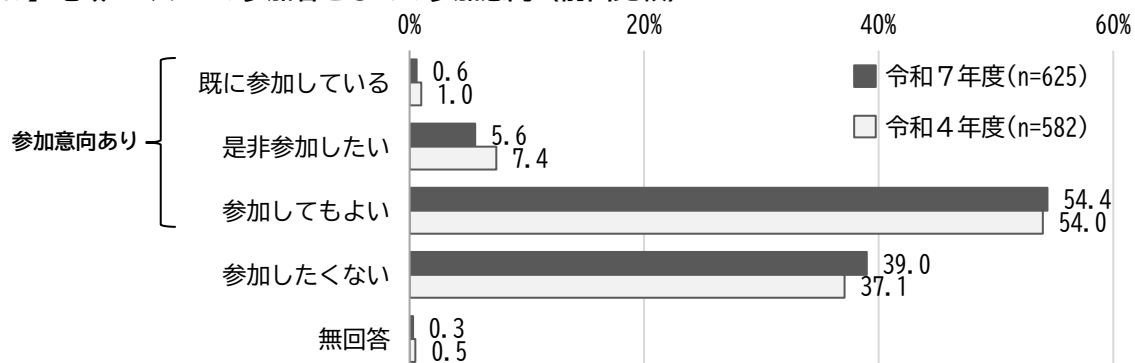
⑥収入のある仕事



問7 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。
(単数回答)

「既に参加している」が0.6%、「是非参加したい」が5.6%、「参加してもよい」が54.4%となっており、これらを合わせた“参加意向あり”は60.6%となっている。

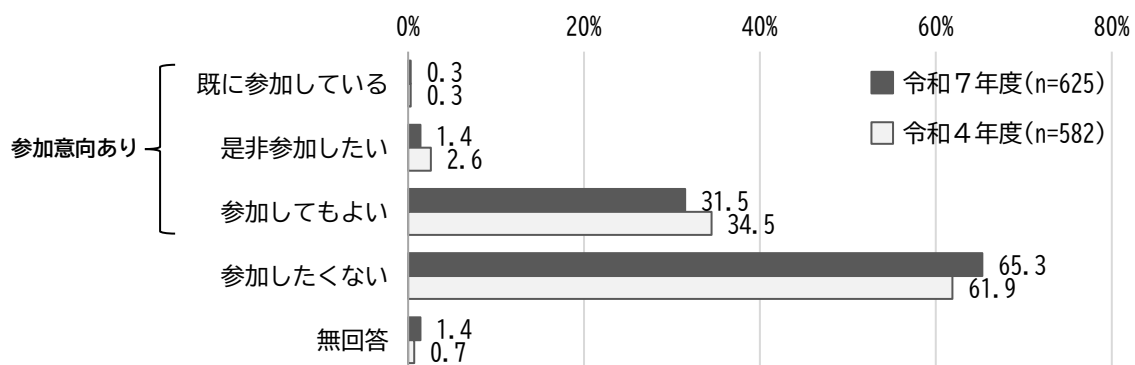
【図表 159】地域づくりへの参加者としての参加意向〈前回比較〉



問8 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。(単数回答)

「既に参加している」が0.3%、「是非参加したい」が1.4%、「参加してもよい」が31.5%となっており、これらを合わせた“参加意向あり”は33.2%となっている。

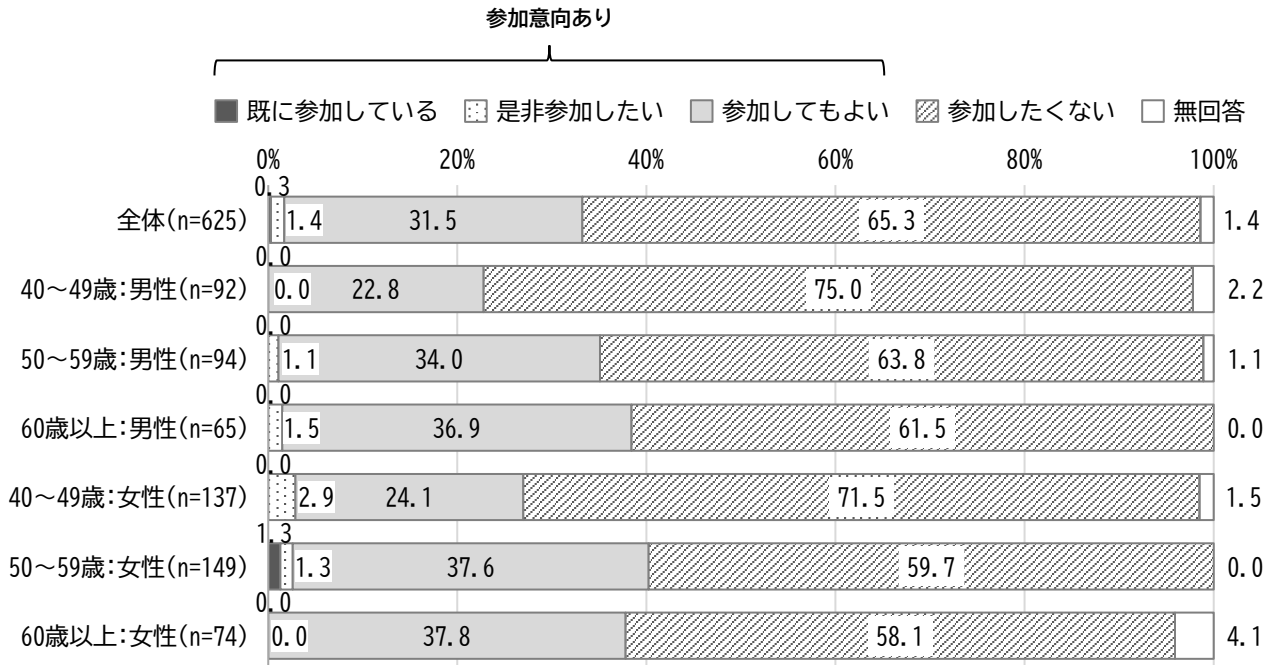
【図表 160】地域づくりへの企画・運営としての参加意向〈前回比較〉



■地域づくりへの企画・運営としての参加意向〈性・年齢階層別〉

性・年齢階層別にみると、“参加意向あり”と回答している割合は、男性では年齢階層が上がるにつれ高くなる傾向がみられている。

【図表 161】 地域づくりへの企画・運営としての参加意向〈性・年齢階層別〉



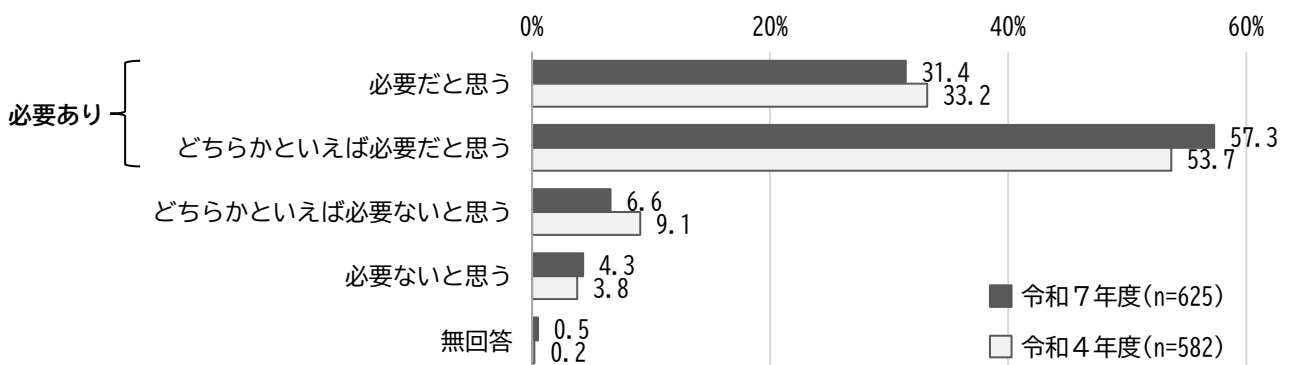
4. たすけあいについて

問9 あなたの日々の暮らしの中で、地域のつながり（住民同士の助け合い・支え合いなど）についておたずねします。（単数回答）

(1) 地域のつながりの必要性

地域のつながりの必要性については、「必要だと思う」（31.4%）と「どちらかといえば必要だと思う」（57.3%）を合わせた“必要あり”は88.7%となっている。

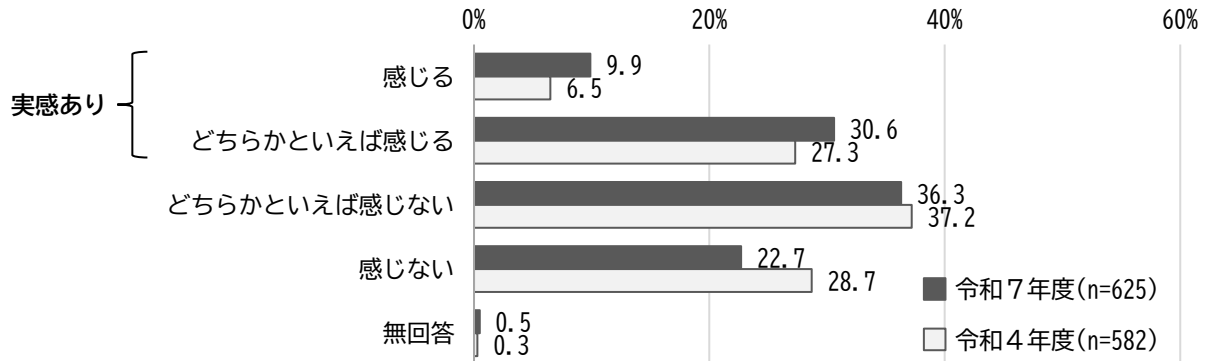
【図表 162】 地域のつながりの必要性〈前回比較〉



(2) 地域のつながりの実感

地域のつながりの実感については、「感じる」(9.9%)と「どちらからといえば感じる」(30.6%)を合わせた“実感あり”40.5%となっている。

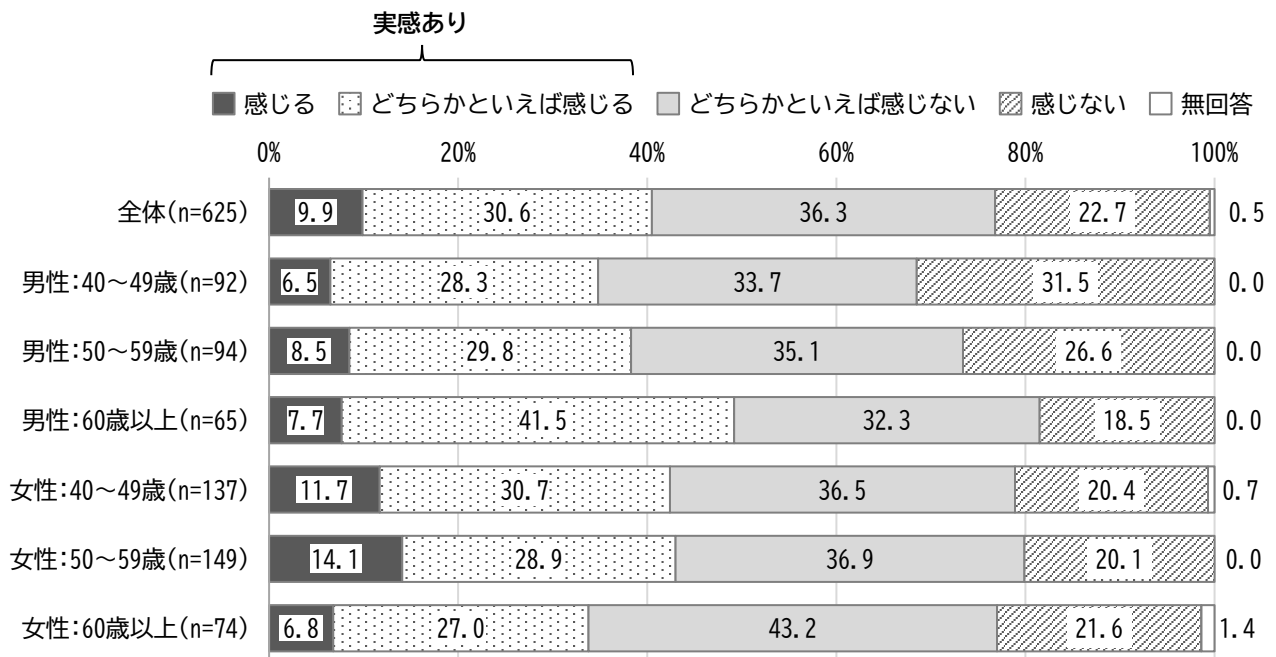
【図表 163】地域のつながりの実感〈前回比較〉



■地域のつながりの実感〈性・年齢階層別〉

性・年齢階層別にみると、“実感あり”と回答している割合は、男性では年齢階層が上がるにつれ高くなる傾向がみられている。

【図表 164】地域のつながりの実感〈性・年齢階層別〉

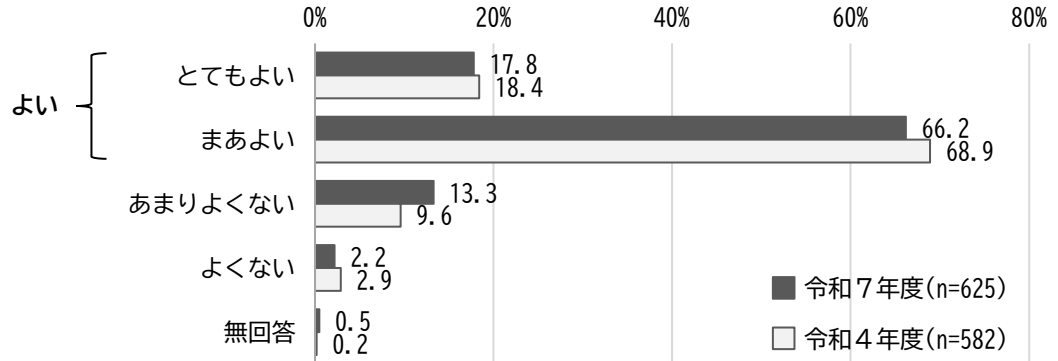


5. 健康状態や健康づくりについて

問10 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(単数回答)

「まあよい」が66.2%と最も多く、「とてもよい」(17.8%)と合わせた“よい”は、84.0%となっている。

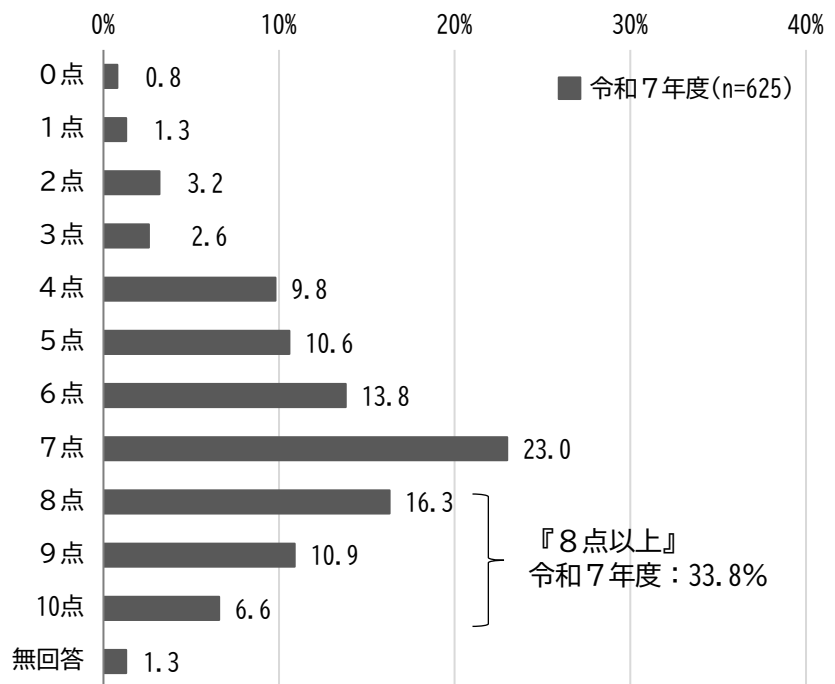
【図表 165】現在の健康状態〈前回比較〉



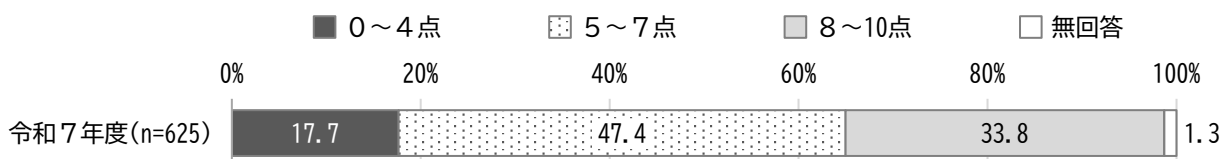
問11 あなたは、現在どの程度幸せですか。(単数回答)

「7点」が23.0%で最も多く、次いで、「8点」が16.3%、「6点」が13.8%となっている。「8～10点」を合わせた“8点以上”は33.8%となっている。

【図表 166】現在の幸福度



【図表 167】現在の幸福度3区分別



3 第2号被保険者調査

問12 生きがいがありますか。(単数回答)

「ある」が64.6%、「思いつかない」が33.8%となっている。

【図表 168】生きがいの有無



問12で「ある」と回答した方の具体的な生きがいの記載内容

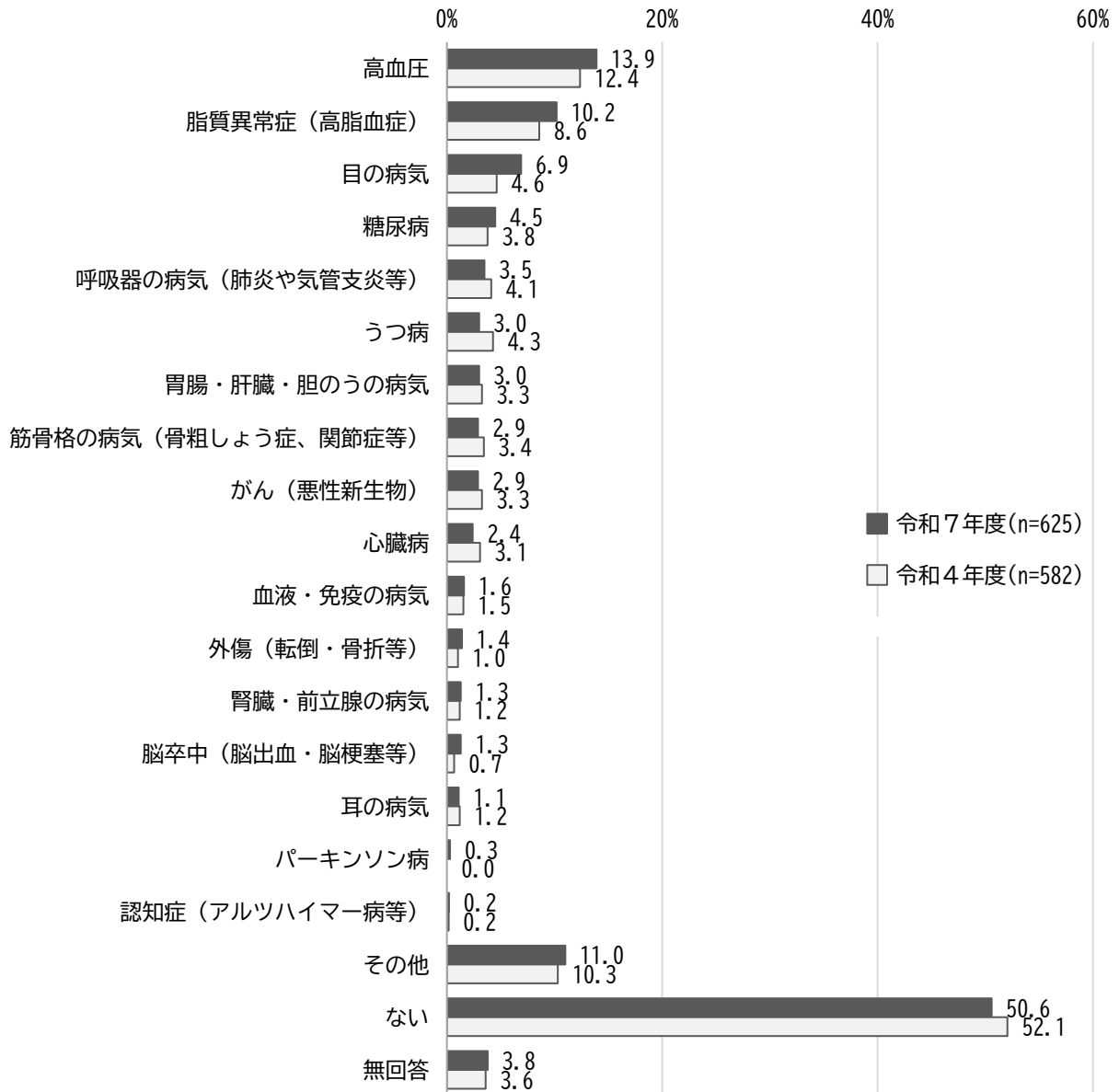
生きがいが「ある」と回答した方に具体的な内容を聞いたところ、366件の回答があった。12の項目にまとめた各項目の主な内容は以下のとおり。

家族	137件	旅行	7件
・子育て ・家族の幸せ		・旅行	
仕事	83件	友人・知人との交流	7件
・仕事があること ・自分の会社		・仲間との交流 ・友達	
趣味	63件	ペット	7件
・推し活 ・食事、食べ歩き		・ネコ ・ペットを通じた交流	
運動	18件	健康	5件
・ランニング、マラソン ・ウォーキング、散歩		・健康でいられること	
勉強・読書	12件	ボランティア	1件
・学ぶこと ・本を読む		・社会的活動	
音楽・芝居	8件	その他	18件
・バンド活動、楽器演奏 ・芝居		・日々の生活 ・生きていること、それ自体	
		合計	366件

問13 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(複数回答)

「高血圧」が13.9%で最も多く、次いで、「脂質異常症(高脂血症)」が10.2%、「目の病気」が6.9%となっている。一方、「ない」は50.6%となっている。「その他」(11.0%)では、「甲状腺の病気」が最も多い。

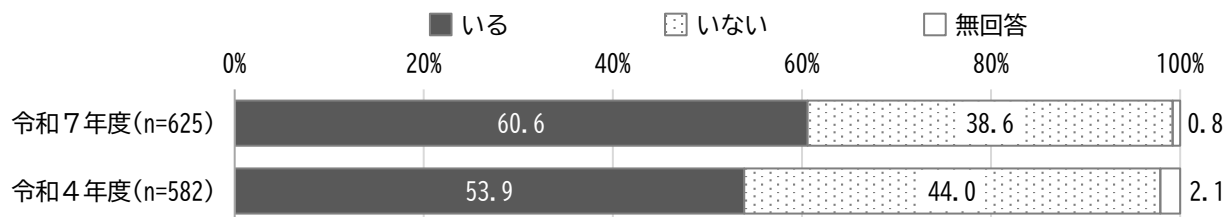
【図表 169】 現在治療中、または後遺症のある病気〈前回比較〉



問 14 あなたには、継続的に診療を受けていたり、体調が悪いときなどに気軽に相談できる診療所・クリニックの「かかりつけ医」がいますか。(単数回答)

「いる」が60.6%、「いない」が38.6%となっている。

【図表 170】かかりつけ医の有無〈前回比較〉

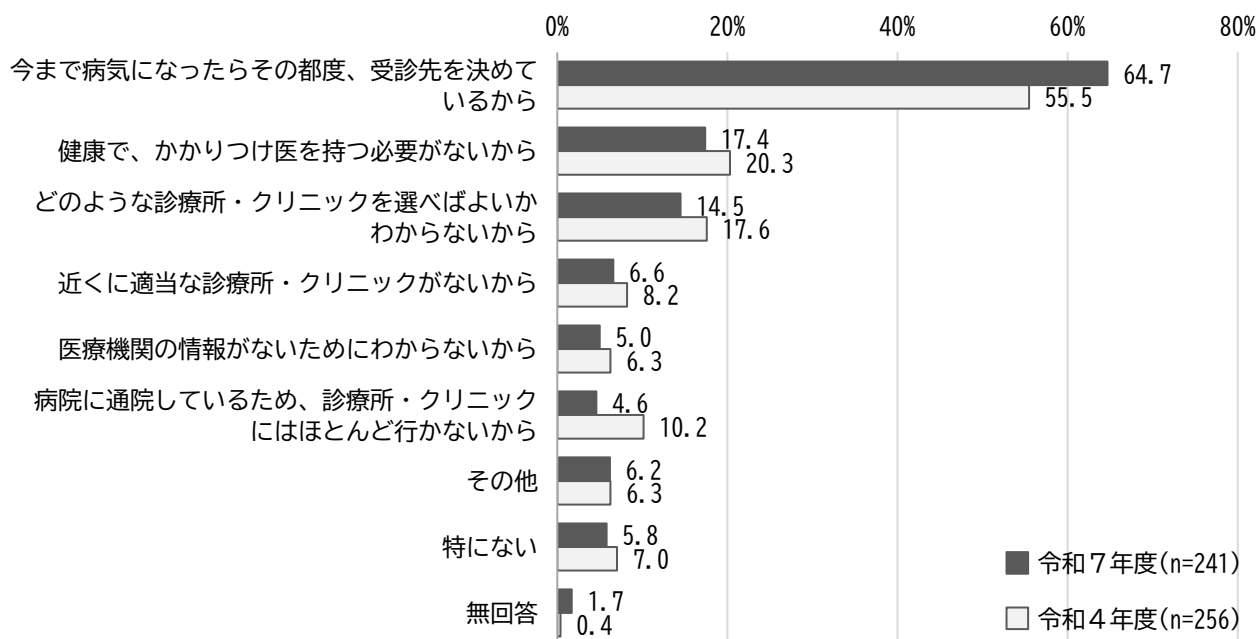


【問 14 で「いない」と回答した方】

問 14-1 かかりつけ医がない理由は、次のうちどれですか。(複数回答)

「今まで病気になったらその都度、受診先を決めているから」が64.7%で最も多く、次いで、「健康で、かかりつけ医を持つ必要がないから」が17.4%、「どのような診療所・クリニックを選べばよいかわからないから」が14.5%となっている。

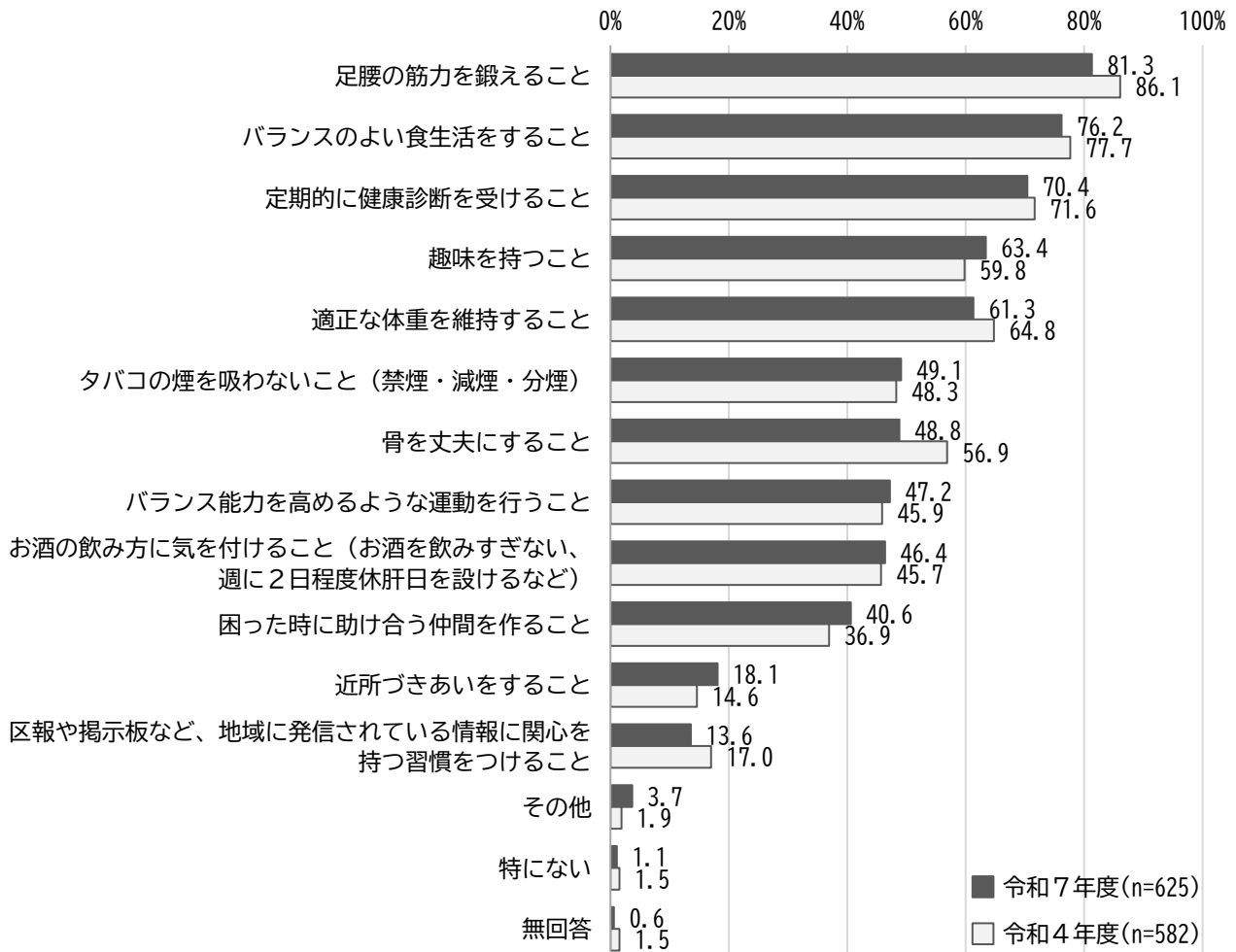
【図表 171】かかりつけ医がない理由〈前回比較〉



問 15 いきいきと充実した活動的な高齢期を実現するために、40代から取り組んだほうがよいことは何だと思いませんか。(複数回答)

「足腰の筋力を鍛えること」が81.3%で最も多く、次いで、「バランスのよい食生活をするこ
と」が76.2%、「定期的に健康診断を受けること」が70.4%となっている。

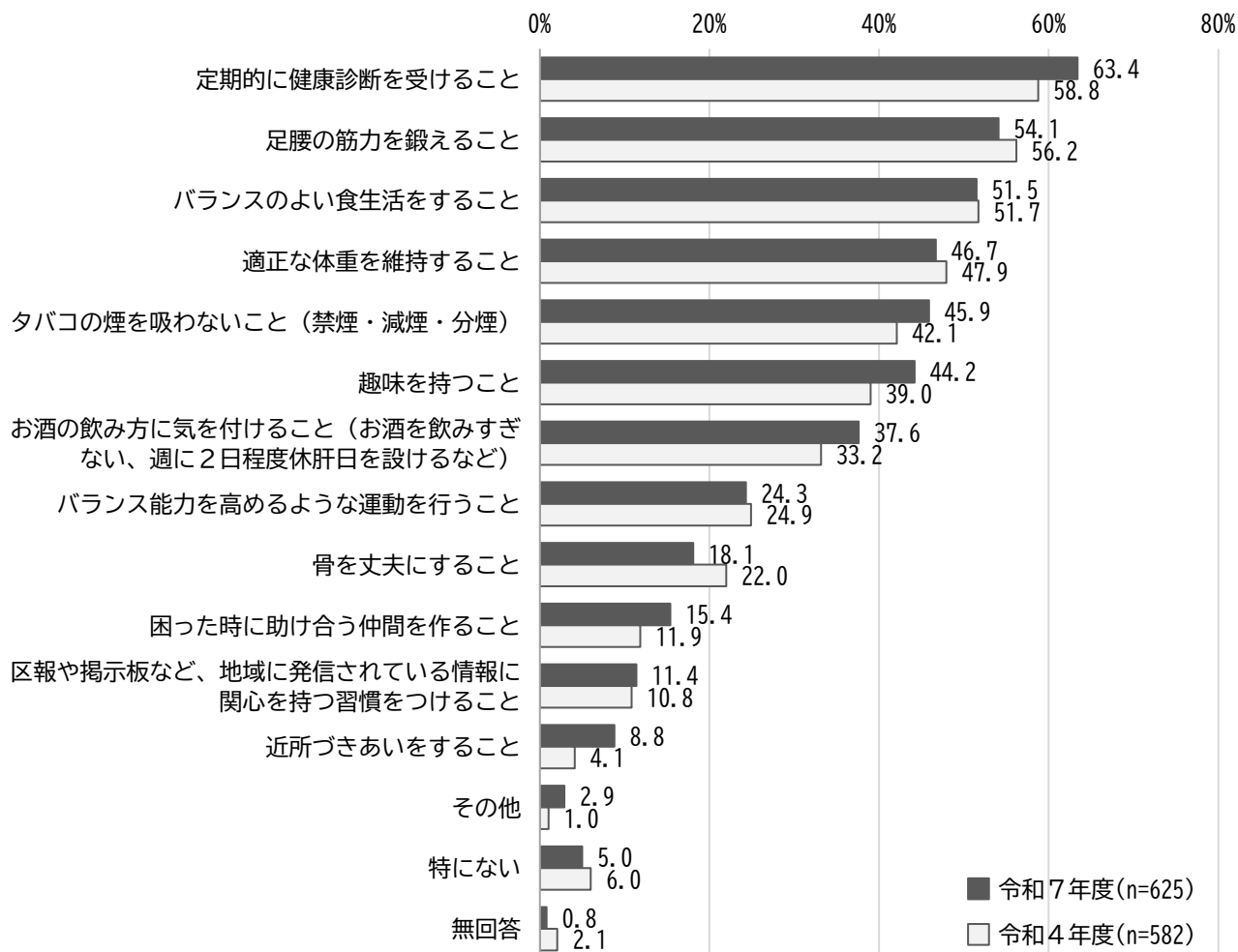
【図表 172】40代から取り組んだほうがよいこと〈前回比較〉



問16 あなたが現在、実践していることはありますか。(複数回答)

「定期的に健康診断を受けること」が63.4%で最も多く、次いで、「足腰の筋力を鍛えること」が54.1%、「バランスのよい食生活をする事」が51.5%となっている。

【図表 173】 現在、実践していること〈前回比較〉

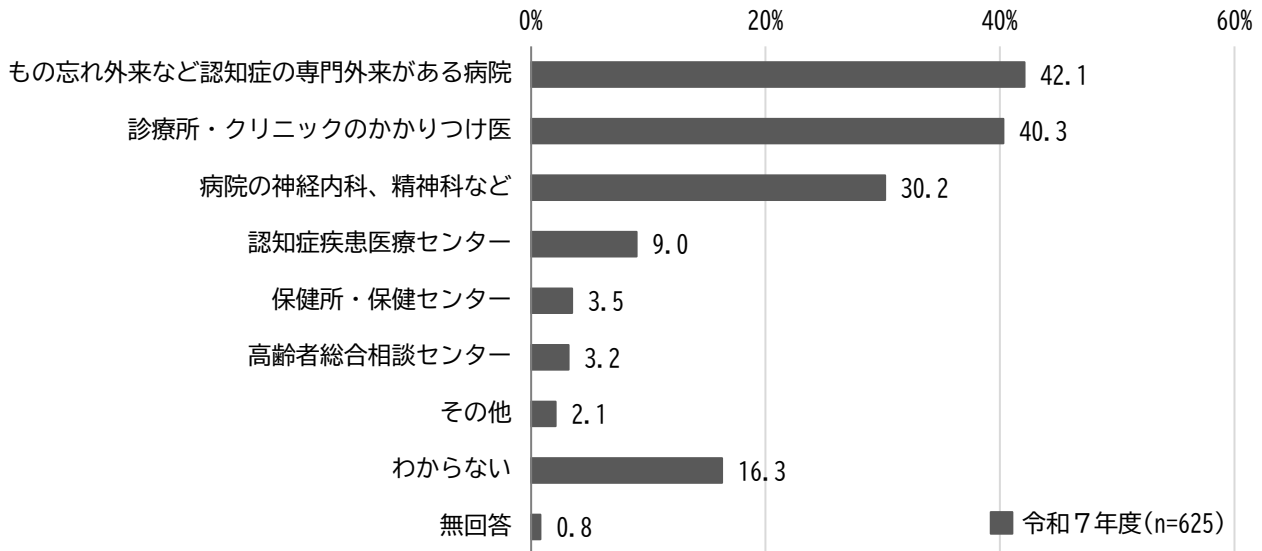


6. 若年性認知症について

問 17 あなたは、もの忘れや理解・判断力の低下、そのことによる仕事上のトラブルなど気になる症状があったとき、どちらに相談しようと思いますか。(複数回答)

「もの忘れ外来など認知症の専門外来がある病院」が42.1%で最も多く、次いで、「診療所・クリニックのかかりつけ医」が40.3%、「病院の神経内科、精神科など」が30.2%となっている。

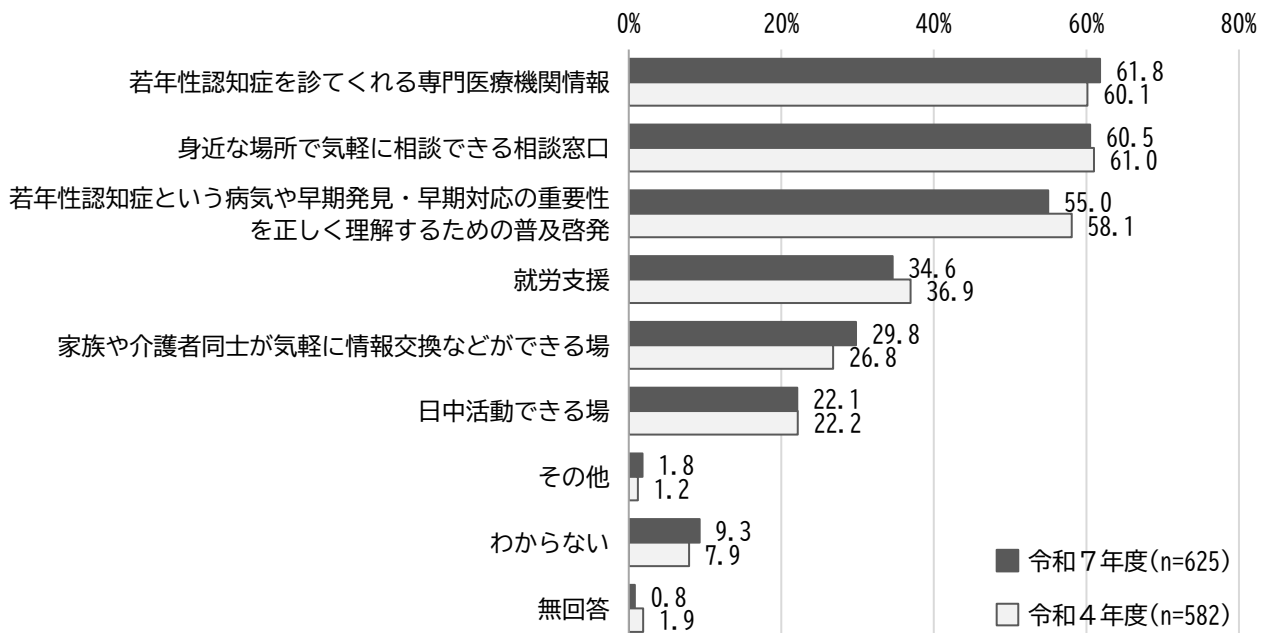
【図表 174】もの忘れ等気になる症状があったときの相談先



問 18 あなたは、若年性認知症の支援には何が必要だと思いますか。(複数回答)

「若年性認知症を診てくれる専門医療機関情報」が61.8%で最も多く、次いで、「身近な場所で気軽に相談できる相談窓口」が60.5%、「若年性認知症という病気や早期発見・早期対応の重要性を正しく理解するための普及啓発」が55.0%となっている。

【図表 175】若年性認知症に対して必要な支援〈前回比較〉

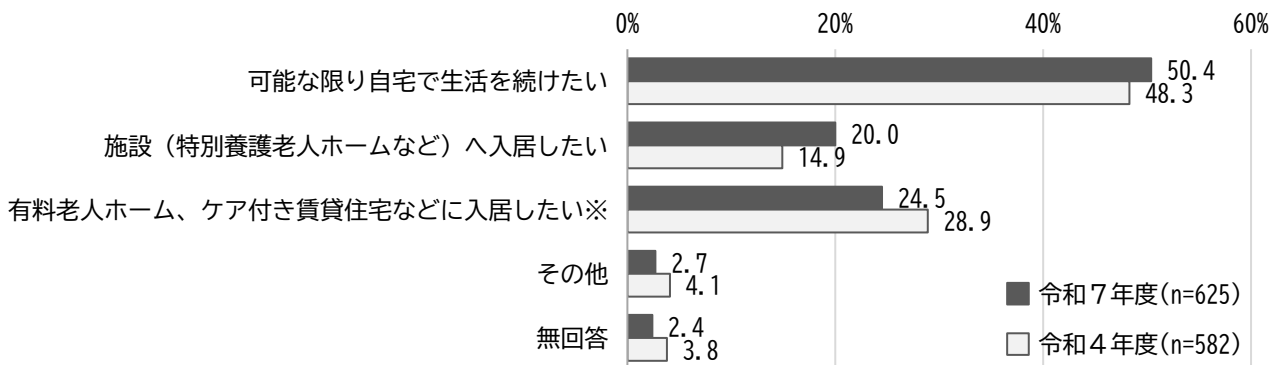


7. 在宅療養等について

問 19 あなたは、介護が必要になった場合、どこで生活を続けたいと思いますか。(単数回答)

「可能な限り自宅で生活を続けたい」が 50.4%で最も多く、次いで、「有料老人ホーム、ケア付き賃貸住宅などに入居したい」が 24.5%、「施設（特別養護老人ホームなど）へ入居したい」が 20.0%となっている。

【図表 176】 介護が必要になった場合の生活を続けたい場所（前回比較）

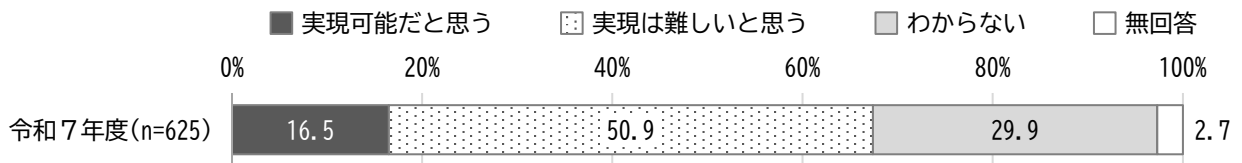


※令和4年度調査の選択肢は「介護、見守りや食事の提供などがついている高齢者専用の住居（有料老人ホーム、ケア付き賃貸住宅など）に入居したい」となっている。

問 20 ご自宅での療養は実現可能だと思いますか。(単数回答)

「実現は難しいと思う」が 50.9%で最も多く、次いで、「わからない」が 29.9%、「実現可能だと思う」が 16.5%となっている。

【図表 177】 在宅療養の可能性

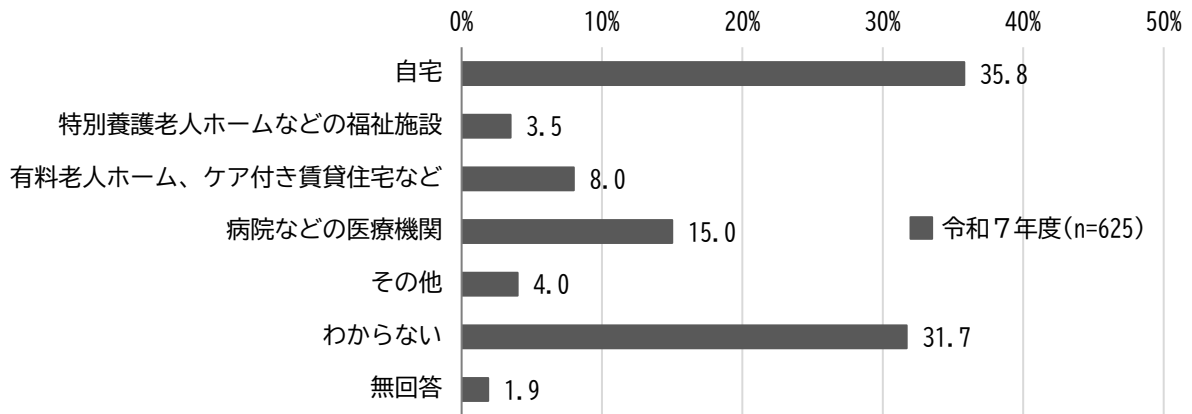


8. ACP（人生会議）について

問21 あなたは、ご自身の最期をどこで迎えたいと思いますか。（単数回答）

「自宅」が35.8%で最も多く、次いで、「わからない」が31.7%、「病院などの医療機関」が15.0%となっている。

【図表 178】最期を迎えたい場所

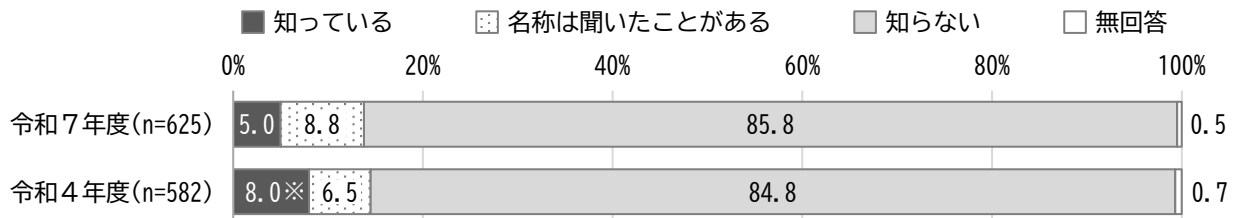


問22 ACP（人生会議）についておたずねします。（単数回答）

(1) あなたは、ACP（人生会議）について知っていますか。

「知らない」が85.8%で最も多く、次いで、「名称は聞いたことがある」が8.8%、「知っている」が5.0%となっている。

【図表 179】ACP（人生会議）の認知度〈前回比較〉

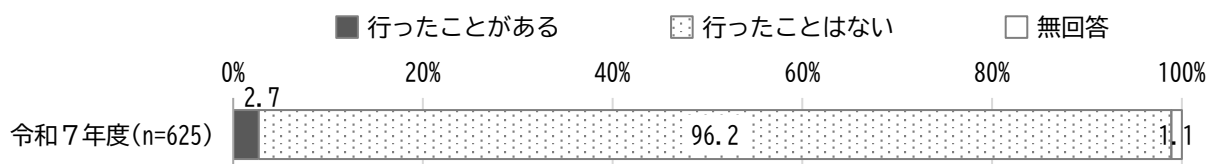


※令和4年度調査については、選択肢「知っている（話し合ったことがある）」と「知っている（話し合ったことはない）」を合わせて、「知っている」としている。

(2) あなたは、ACP（人生会議）を行ったことがありますか。

「行ったことがある」が2.7%、「行ったことはない」が96.2%となっている。

【図表 180】ACP（人生会議）を行ったことの有無

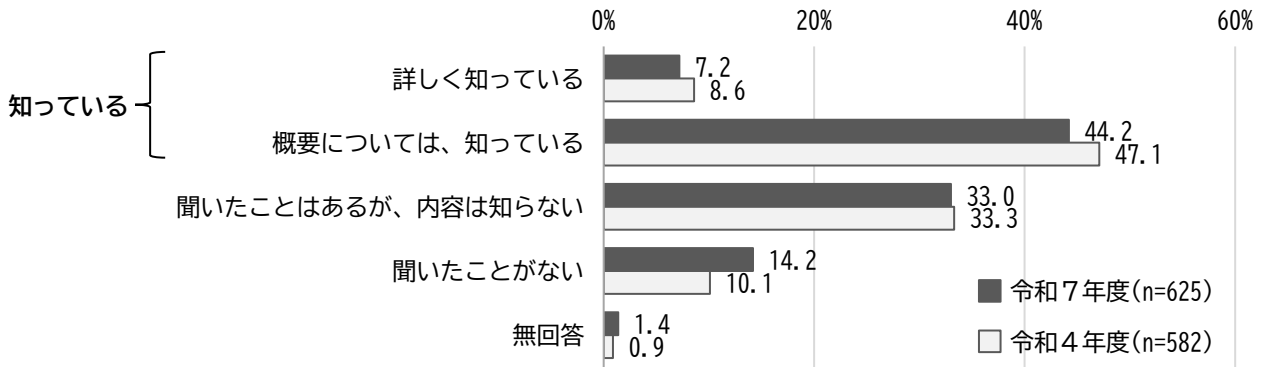


9. 権利擁護について

問 23 あなたは、成年後見制度を知っていますか。(単数回答)

「概要については、知っている」が 44.2%で最も多く、次いで、「聞いたことはあるが、内容は知らない」が 33.0%、「聞いたことがない」が 14.2%となっている。「詳しく知っている」(7.2%)と「概要については、知っている」(44.2%)を合わせた“知っている”は 51.4%となっている。

【図表 181】成年後見制度の認知度〈前回比較〉

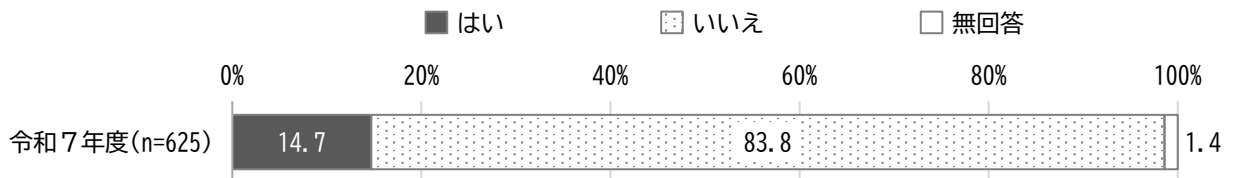


10. 災害時要援護者対策について

問 24 あなたは、「災害時要援護者名簿」について知っていますか。(単数回答)

「はい」が 14.7%、「いいえ」が 83.8%となっている。

【図表 182】災害時要援護者名簿の認知度

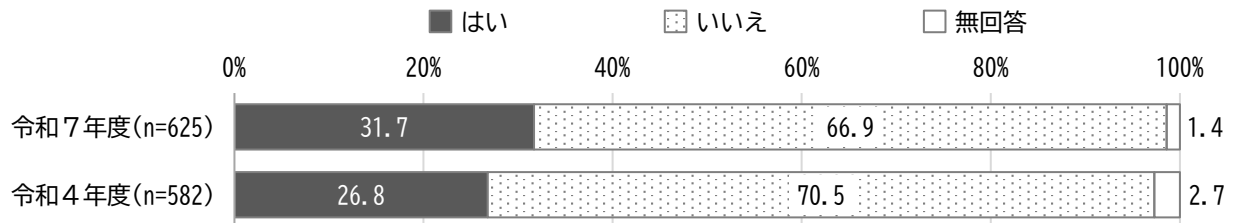


11. 健康・福祉サービスの相談窓口について

問 25 あなたは、「高齢者総合相談センター」の名称を知っていますか。(単数回答)

「はい」が31.7%、「いいえ」が66.9%となっている。

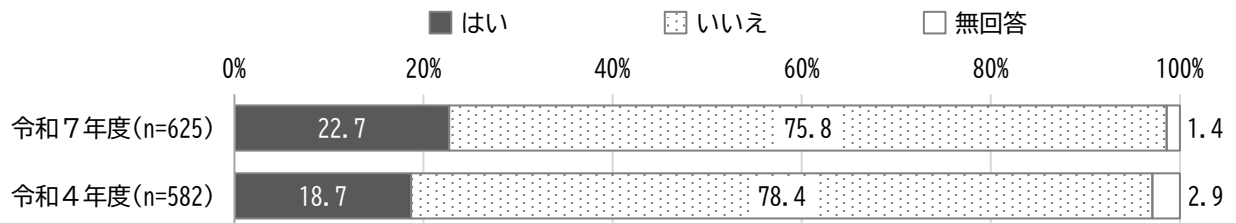
【図表 183】 高齢者総合相談センターの名称の認知度〈前回比較〉



問 26 あなたは、「高齢者総合相談センター」が何をする機関か知っていますか。(単数回答)

「はい」が22.7%、「いいえ」が75.8%となっている。

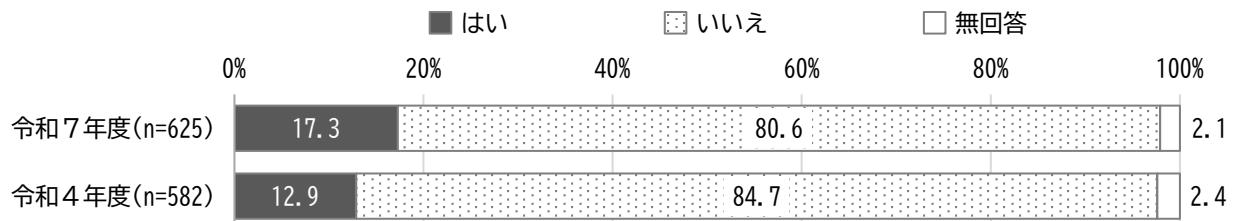
【図表 184】 高齢者総合相談センターの機能の認知度〈前回比較〉



問 27 あなたは、あなたのお住まいの地域を担当する「高齢者総合相談センター」がどこにあるか知っていますか。(単数回答)

「はい」が17.3%、「いいえ」が80.6%となっている。

【図表 185】 高齢者総合相談センターの所在地の認知度〈前回比較〉

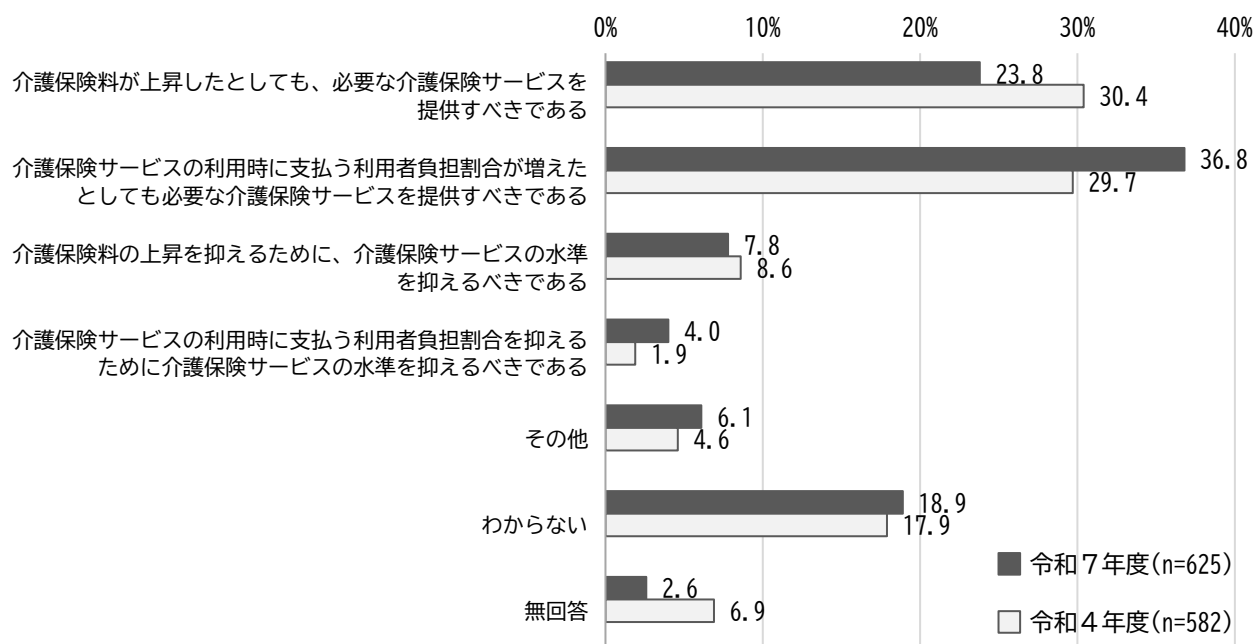


12. 介護保険制度について

問 28 今後、高齢者の増加に伴い、サービスにかかる費用も増大することが予想されます。介護保険のサービスと費用負担について、あなたのお考えに最も近いものは、次のうちどれですか。
(単数回答)

「介護保険サービスの利用時に支払う利用者負担割合が増えたとしても、必要な介護保険サービスを提供すべきである」が 36.8%で最も多く、次いで、「介護保険料が上昇したとしても、必要な介護保険サービスを提供すべきである」が 23.8%、「わからない」が 18.9%となっている。

【図表 186】 介護保険のサービスと費用負担 〈前回比較〉



自由記述

問 29 高齢者の保健と福祉に関する施策や介護保険について、区へのご要望・ご意見がありましたらご自由にお書きください。

高齢者の保健と福祉に関する施策や介護保険について、115 件の回答があった。9 項目にまとめた各項目の主な意見は以下のとおり。(その他を除く)

高齢者施策について	23 件
<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者だけの世帯だとサービスに繋がれない方がいると思うので、区の働きかけで必要な方に必要なサービスが届くようにしてほしい。 ・ 区独自の制度があってもいいが、現役世代にも配慮してほしい。 ・ 高齢者の増加に対する対応として、介護以外の高齢者の保健（病気にならないための予防）や、高齢者の孤立防止（居場所作りなど）のための取り組みを行ってほしい。 	
情報提供相談について	21 件
<ul style="list-style-type: none"> ・ 分かりやすいリーフレットなどを定期的に配布して欲しい。 ・ 介護保険に関する勉強会などをやってほしい。 	
サービスについて	13 件
<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者総合相談センターの場所が行きにくい。駅近の場所などがあると、介護に疲れている人も気軽に相談に行けると思う。 ・ 介護従事者が安定して気持ちよく働ける環境づくりに力を入れてほしい。 ・ ケアマネジャーの不足により、介護を受けるハードルが上がってしまうと危惧しており、対策をしてほしい。 	
介護保険保険料について	11 件
<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在は多少の収入があり保険料を払うことができるが、年金生活になると保険料の負担はかなり大きい額に感じると思う。 ・ 介護度の認定に日数がかかりすぎると思う。 	
行政への要望について	10 件
<ul style="list-style-type: none"> ・ 弱者がサポートを身近に受けられ、社会と交われる環境を東京都と共に整えてほしい。 ・ 公共の福祉は大事だが、持続不能な方向に進まないように十分配慮すべき。 	
健康介護予防について	9 件
<ul style="list-style-type: none"> ・ 生きがいを持って健康寿命を延ばせる施策をお願いしたい。 ・ 高齢者が安心して健やかに自立して暮らせるよう、まずは中高年の健康プログラム（スポーツセンターでの体操、フレイル予防、ダンス、ヨガストレッチ等）の拡充が必要だと思います。 	
アンケートについて	6 件
<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケートの内容をわかりやすくしてほしい。 ・ アンケートで広く声を集め、行政の施策に反映してほしい。 	
高齢者向け施設について	5 件
<ul style="list-style-type: none"> ・ 区外に住む親の介護を区内で受けさせたいと思うが、老人ホームの費用が高く驚いている。手ごろな施設があればありがたい。 	
その他	17 件

